

月報

4 1 号

発行所

青丘文庫

編集・発行★韓 哲 暉

〒654 神戸市須磨区須磨寺町4-3-1

メゾンド青丘ビル2階

TEL (078) 734-5989

責任のとり方

鹿島 節子

少し古い話だが、昨年八月二四日付の北海道新聞に「自ら課した戦後処理」と題する記事があった。

西ドイツの自動車メーカー、ダイムラー・ベンツ社が第二次大戦中に強制労働させたユダヤ人らに日本円にして約十四億四千万円の賠償金を支払うことにしたというのである。これはベンツ社の社史の編さん過程で同社が一九三三年から四五年の間に国内や占領下の地域で強制収容所や刑務所のユダヤ人や政治犯を長時間、苛酷な条件の下で働かせた実態が明らかになったことに起因している。ベンツ社は、社史にその事実を明記すると同時に賠償金まで支払うことにしたという。それともうひとつ。同じく西ドイツからの便りで、一九三八年十一月、ナチスがユダヤ人の商店や教会を襲った、いわゆる「水晶の夜」を記念する切手が発行され、そこには「贖いの秘密は記憶にある」と書かれていることを知った。

このふたつの事実から日本とドイツの過去に対する責任のとり方や、認識のし方に大きな差があることがわかる。

国として日本は朝鮮をはじめとするアジア諸国に對して過去におかした罪をきちんと精算してこなか

ったし、ましてや企業をやである。外国人に対する差別政策、差別体質が、いつまでたっても改善されない原因の多くがここにあることは、よく指摘される。そしてこんな日本社会の差別体質に、多くの外国人はあきらめの気持ちを持ち、それをまともに追求しようとする人は、長くしんどい裁判に訴えて闘うしかない。

先日、天皇が死んで、その戦争責任も少し問われはしているが、それも圧倒的天皇礼讃の報道の中にかき消され、このまま「昭和」とともに過去の「みにくい歴史」が葬り去られていきそうだ。しかも、日本の外国人差別の象徴的制度ともいえる指紋押捺に対して「拒否」という形で闘ってきた人々については天皇の死亡に伴う「恩赦」が適用されて、裁判が免訴となるという。

戦争や植民地支配の先頭に立ってきた人物が、責任をとらずに死に、その死によって、その人間頂点とする日本全体の差別構造を追及してきた人の「罪」が「赦される」とは。

多くの日本人が、また、こんなことによって過去に対する責任ということを忘れてしまう方向へ行くのかと、全く情けない思いがする。

朝鮮民族運動史研究会第79回例会

(一九八八年二月一八日)

(民族運動史上の人物) 呉 成 崙

呉成崙はニム・ウエルズ、キム・サン著『アリランの歌』に登場する人物で、民族運動史、共産主義運動史においてきわめて重要な役割を果たしたが、その経歴は詳しく知られていない。

別名咸聲、全光など。一九〇〇年、咸鏡北道生れとされるが、生年・出生地についても異説がある。父について間島へ移住、竜井の中学在学中に三一運動に参加した。その後、上海に行き、義烈団に加入した。二年四月に発表された「李承晩声討文」に金元鳳らとともに署名しており(『現代史資料』二七巻、三八頁)、呉の名前が見られる最初の資料である。

その名が有名になったのは、二二年三月二八日、上海で田中義一の暗殺をはかって逮捕され、上海の日本領事館の監獄から脱走した事件によつてである。ドイツを経てモスクワの東方勤労者共産大学で短期間学んだ後、翌年春には満州にもどり「赤旗団」という共産主義的な団体を組織したという。

二六年に広州に移つてからの活動はキム・サンが述べている通りである。黄埔軍官学校、広州コミューン、海陸豊ソヴェトにおける呉の活動は、中国側文献でも裏付けられ

る。

二九年秋または三〇年初め、中共の派遣で満州磐石に行き、中共満州省委南満州特別委員会に属して朝鮮人の中共加入を推進した。パルチザン活動が開始されてからは、磐石中心県委書記を経て東北人民革命軍第一軍二師政治部主任などとなった。三六年には組織の改組により、中共南満省委委員・東北抗日連軍第一軍第二軍政治部主任となり、後に東北抗日連軍第一路軍総務処長の地位にもついた。三六年に結成された「在満韓人祖国光復会」では発起人の一人となった。同会は、中共南満省委書記魏拯民の指導の下に呉成崙(当時の別名は全光)が政治的指導の中心となつてつくられた朝鮮人の大衆団体だったと考えられる(長白県では金日成が責任者)。

日本軍による激しい討伐のためパルチザン活動が困難になつた四〇年三月、南満省委・一路軍幹部会議が開かれ、これに出席した呉は総司令部秘書処などを率いて樺甸・濛江方面での最も困難な活動を続けることが決定された。しかし、討伐の輪は次第に狭められ、翌年一月捕えられた呉は日本側に「帰順」した。同じ頃、残った部隊はソ連領に入り、第一路軍は壊滅した。

呉は満州国治安部顧問となつて日本に協力したといわれる。日本の敗戦で東北(満州)が解放された後、その罪を問われ、逮捕・処刑されたという説がある。八路軍が呉の語学の才能を見込んで通訳として従軍させたが、承徳で病死したともいわれ、その最後はまだ明らかでない。

特別講演会への参加（一九八八年二月一日）

中国延辺の朝鮮族の歴史と現状

延辺歴史研究所所長 韓俊光氏

昨年の夏は、この研究会でもメンバー数人が延辺を訪問するなど、延辺に対する関心が高まってきている。そこで昨年二二年度の在日朝鮮人史研究会の例会は、神戸YMCAで行われた延辺歴史研究所の韓俊光先生の特別講演会に合流した。以下、この講演の要約である。

在中国の朝鮮人は一八〇〜一九〇万名いる。地区的にみると延辺八〇万人、黒竜江省四〇万名、遼寧省二五万名、長春二〇万名、残りが北京、天津である。こうした在中朝鮮人の形成は、一九世紀半ばからの移住によるものである。

移住してきた朝鮮人が、民族共同体を形成する条件は、まず定住し共同体であるべく集団的に努力することであり、そして中国政府の法律的な認可を受けることである。とくに中国政府の法律的認可においては、日本の侵略および蒋介石に対する闘争で第一線に立って闘い、中国創建に重要な貢献をしたことがポイントとなっている。

これによって一九四九年の中華人民共和国成立後、関外すなわち東北地方の朝鮮人に公民権が与えられ、朝鮮族となった。関内の朝鮮人は、臨時政府などとの結びつきがつよく朝鮮人の

ままであった。

一九五二年に自治州が成立するが、重要なことは区域自治で決定されたことがその区域だけにとどまらず、中国全土にいる朝鮮族すべてにおよぶ点である。

当面の課題としては、①朝鮮族には保守的な面があり、古い觀念を変えて民族の素質を高めなければならない②農業中心の経済構造を工業化していかなければならない③民族教育の革新④言語問題――などがある。言語問題は、自治州では朝鮮語による教育に始まり、あらゆることが朝鮮語ですますことができるため、逆に中国語が不自由であり、また英語などの外国語の習得が遅れている。

講演は、いろいろなエピソードをまじえて行われた。たとえば朝鮮族の人口が増えない理由として、漢族の女性は産児制限で子供一人だけとなっているのに何人も産んでいるのに対し、朝鮮族は優遇政策で二人まで認められるのに、なぜか一人しか産まない。あるいは朝鮮族のアジュンマは、市場での商売で亭主の月給の何倍もの収入を得ているといった具合いだ。

講演の後、なぜ朝鮮族の女性は一人しか子供を産まないのかなど活発な質疑応答が行われた。子供を一人しか産まない理由はいろいろあるが、全体として国家の方針を律儀に守ろうとする朝鮮族の姿が浮かび出て、興味深い問題である。（堀内記）

☆新図書案内

南北朝鮮労働党の統一政府樹立闘争	金 南植	東京	アジア経済研究所	88年P118
驪州梅龍里 몽골고지群	玄 勝鍾	ソウル	林大学出版部	88年P166
居昌干佛里天徳寺	安 春培	〃	釜山女子大学博物館	88年P321
在日韓国・朝鮮人	飯沼二郎	大阪	海風社	88年P313
熱 風	李 鍾烈	ピョンヤン	外国出版部	88年P212
朝鮮近代の歴史像	中村 哲	東京	日本評論社	88年P234
解放三年史 1 (1945~1948)	宋 南憲			
虚学から実学へ	金 泰俊	東京	東京大学出版会	88年P300
日本農村伝導史序説 1・2	飯沼二郎			
列島と半島の社会史	網野善彦	東京	KK作品社	88年P236
韓国の古代遺跡	田中俊明	〃	中央公論社	88年P354
韓国の歴史	早苗他	〃	河出書房新社	88年P142

☆研究会御案内

・在日朝鮮人運動史研究会第108回例会

日 時 1989年2月12日(日)午後2時

テーマ 「在日韓下の地下工場 - 在日朝鮮人労働者の生活と闘争 -」

報告者 兵庫朝鮮関係研究会 金 永仁

※お詫び 在日朝鮮人研究 18号の書評会の方を予定しておりましたが、
 担当は、石田論文(井田氏)、釜山論文(井田氏)、釜山論文(金永仁)

・2月19日(日)午後4時より、青丘文庫20周年及び韓哲曦氏の

出版記念会を神戸YMCA(三ノ宮)で開きます。

尚朝鮮民族運動史研究会は、3月に行います。

お詫び

『月報』前号の在日朝鮮人運動史研究会例会の演政博司氏報告の本文中、
 「日鮮関係史」という研究者としての根本的認識を問われるような表現がある
 にもかかわらず、見過ごしたままで掲載したことにつき、厳しく反省し、「日
 朝関係史」と訂正して、心より深くお詫び申し上げます。

尚、演政博司氏も根本的、徹底的に自己批判し、今後の研究の変革を期した
 いと表明しておられます。 青丘文庫代表 韓 哲 曦